

令和 6年 12月 4日

(公社)埼玉県介護老人保健施設協会
会長 荒船 丈一 様

施設名 介護老人保健施設 なでしこ
氏 名 名久井 瞳

研修会報告書

研修会名	研修会			
日 時	令和6年10月5日(月)10:00~12:30			
会 場	埼玉県看護協会研修センター			
講 師	青梅慶友病院看護部長 桑田 美代子氏			
参加人数・定員	参加人数	92 名	募集定員 制限なし 名	
研修リーダー 研修メンバー (施設名)	◎名久井 瞳(介護老人保健施設なでしこ) ○関根 啓賀(エスポワール秩父) 東松山総合福祉エリア(山岸 成子) 春日部ロイヤルケアセンター(千北 晴美) ケアセンター八潮(真々田 美穂) みかじま(長澤 仁美)			
研修会のテーマ	高齢者の薬による有害事象を理解し、尊厳あるケアの提供に繋げる			
研修会の評価	アンケート回収枚数	枚	3. グループワーク	
	1. 研修内容と目的の一致		4. 研修会の進め方	
	2. 講義に対する評価	①	/	～総合評価点～
		②	/	
③		/		
④		/		
総 評	(研修会開催後の反省会での内容や研修リーダー・メンバーとしての感想等を記述)			
	【感想・意見等】			
	・講師の先生と事前打ち合わせをしていたことで、希望内容に沿った講義が行われ良かった。			
	・薬剤減薬のタイミングを看護師としてアセスメントし、医師へ説明し減薬へ繋げていく連携を図っていけるようにしたい。			
	・ズーム研修は参加人数に制限がないため、多くの方の参加が可能。看護協会との共催研修は今後もズーム研修で行			
	【反省点・課題】			
	共催研修の研修参加申し込み方法は看護協会のサイト「マナブル」からの申し込みであるが、当日のズームIDに入れない問い合わせが、リーダー施設に問い合わせが行ってしまい、対応に追われた。研修当日の問い合わせについて、看護協会のように対応していくか検討必要。(次年度の研修打ち合わせ時に、課題として話し合う)			
謝礼の手続きについて、ご依頼文書を発送時に謝礼の支払い方法について案内を明確にしておく必要があった。次回対応していきたい。				

*アンケート結果の詳細については、別紙添付資料「アンケート結果」を参照。(アンケート集計は看護協会が対応)